

# 生産工程見直しによる最大電力の抑制

輸送用機械を修理するこの工場では、空調設備稼働する夏季に消費電力が増加して、頻繁に最大電力超過の警報が発生していました。

生産工程（主に熱処理工程）の見直しにより最大電力の増加抑制と電力消費量の削減を図りました。

## 改善内容

- 使用電力の大きい熱処理工程のスケジュールを見直し、作業の重畳をさけるとともに夏季は電力負荷ピーク時間帯を避ける工夫をしました。
- 小型真空炉の原単位は中型真空炉の原単位の1/2であることから、小型真空炉を効率的に運用できるように、従来中型真空炉で処理していた一部、部品の熱処理工程を小型真空炉にシフトしました。

## 改善効果

- 削減電力量：69,000kWh/年  
最大電力抑制：約100 kW

改善費用	改善効果	回収年数
0円	240万円/年	0年

## 【システム図】

電力原単位  
 中型真空炉 約30kWh/個  
 小型真空炉 約15kWh/個

